

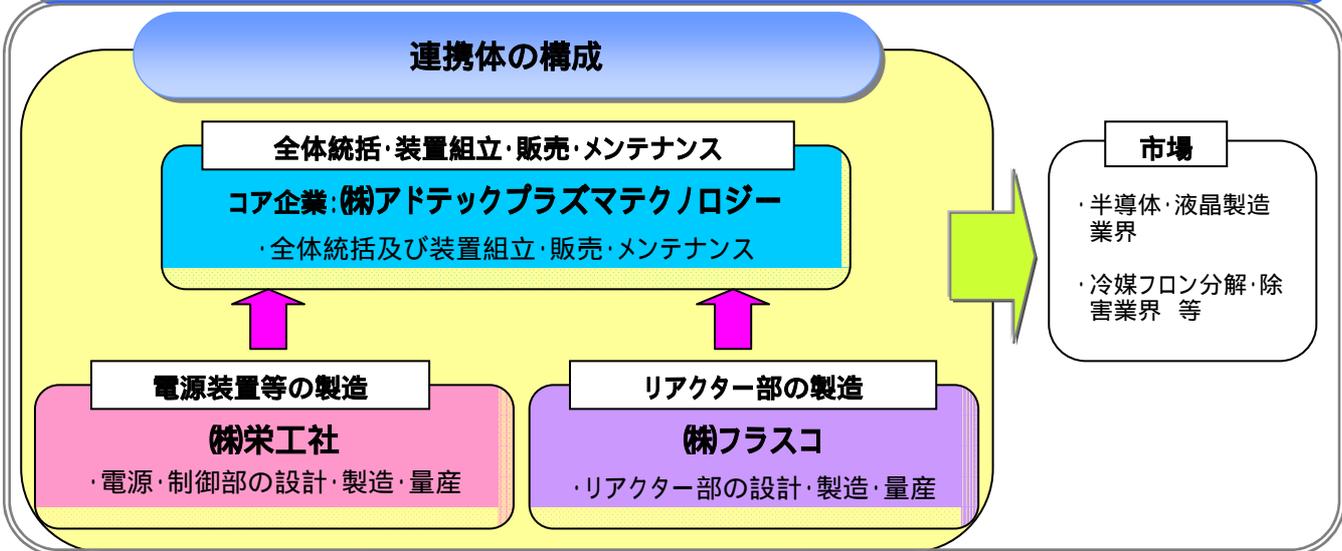
地域	中国(広島県)	事業分野	製造・加工	認定日	平成18年7月24日
----	---------	------	-------	-----	------------

テーマ名： 大気圧プラズマを用いたフッ素系地球温暖化ガスの分解破壊・除害装置の商品化

事業計画の概要：

- 半導体・液晶製造業界では、京都議定書における削減対象であるフッ素系化合物をエッチング工程(化学反応を利用した薄膜形状加工)におけるガス体として多用しており、その分解処理は各社独自で行っている。その分解装置は主として燃焼方式による大規模な装置が使用され、エネルギー消費の増大、炭酸ガスや窒素酸化物等の副生成ガス発生の問題を引き起こしている。
- また、自動車・家電製品廃棄時に出る冷媒フロンの処理を行う業界においても同様に、燃焼方式による大規模な装置が使用されているが、その施設数が少ないことから冷媒フロンの運搬費がかさみ、処理費用の増大を招いている。
- 本連携事業では、連携各社の経営資源を持ち寄り、京都議定書により削減対象として早急な対策が求められるフッ素系ガスの分解破壊・除害処理を促進するために、大気圧プラズマを利用した新しい小型・低価格・低ランニングコストの分解破壊装置の量産及びそれに関連する各種サービスの事業展開を図る。

**コア企業： (株)アドテックプラズマテクノロジー(広島県 福山市)
連携企業等：(株)栄工社・(株)フラスコ**



連携の特徴

コア企業の特許技術を軸に、各企業が保有技術を持ち寄り、大気圧プラズマを利用した新しい小型・低価格・低ランニングコストの分解破壊装置の量産及びそれに関連する各種サービスを展開。
コア企業の装置全体の企画・設計・製造ノウハウと連携企業の電源装置等の製造技術、リアクター部の製造技術を融合して製品化して事業化を目指す。

新事業

従来の環境負荷が大きい大規模システムに替えて小規模・分散型で、かつ低価格・低ランニングコストを実現。
装置の販売にあわせてメンテナンス事業も展開し、継続的な顧客サービスを展開。

市場性

半導体・液晶製造業界及び冷媒フロン分解・除害業界等
フッ素系ガスは京都議定書により削減対象として早急な対策が求められており、半導体・液晶業界、冷媒フロンガス破壊業界などでは、小型・低価格・低ランニングコストで分解破壊・除害処理が可能である当装置への評価は高い。

支援予定メニュー

補助金 政府系金融
機関及び民間金融機関の融資 特許料減免措置

